

Linalua ピンタックベルテッドブラウス



●工程

- | | |
|-------------|------------|
| ①地直し | ⑥衿ぐりパイピング |
| ②裁断、芯貼り、印つけ | ⑦裾切り替え縫い合せ |
| ③前身頃ピンタック縫い | ⑧前立て縫い合わせ |
| ④後身頃ヨークつけ | ⑨袖つくり、袖つけ |
| ⑤身頃肩、脇縫い | ⑩まとめ |
| | ⑪アレンジデザイン |

①地直し

- ・ご家庭で洗濯するなら水通しを。ドライクリーニングに出す場合は水通し不要。
- ・布の裏側からスチームアイロンをかけ、ゆがんだ生地をできるだけ直す。(水染みにならないよう気をつける)

②裁断、芯・伸び止め貼り、印つけ、ロック始末

表地用尺 110 cm巾 × 120 cm
(棒タイ用尺 110 cm巾 × 150 cm)

■ = 芯貼り箇所

○ = ノッチ、きりびつけ

【裁断】

・パーツ(計9)

1. 前身頃 × 2
2. 後身頃 × 1
3. 後ヨーク × 1
4. 袖 × 2
5. 袖口パイピング布 × 2
6. 袖口開きバイアス布 × 2
7. 衿ぐりパイピングテープ × 1
8. 前立て × 2
9. 裾切り替え × 1

・アレンジパーツ(計3)

1. 棒タイ × 1
2. 衿ぐりバイアス見返し × 2
3. 衿ぐりプリーツ × 1

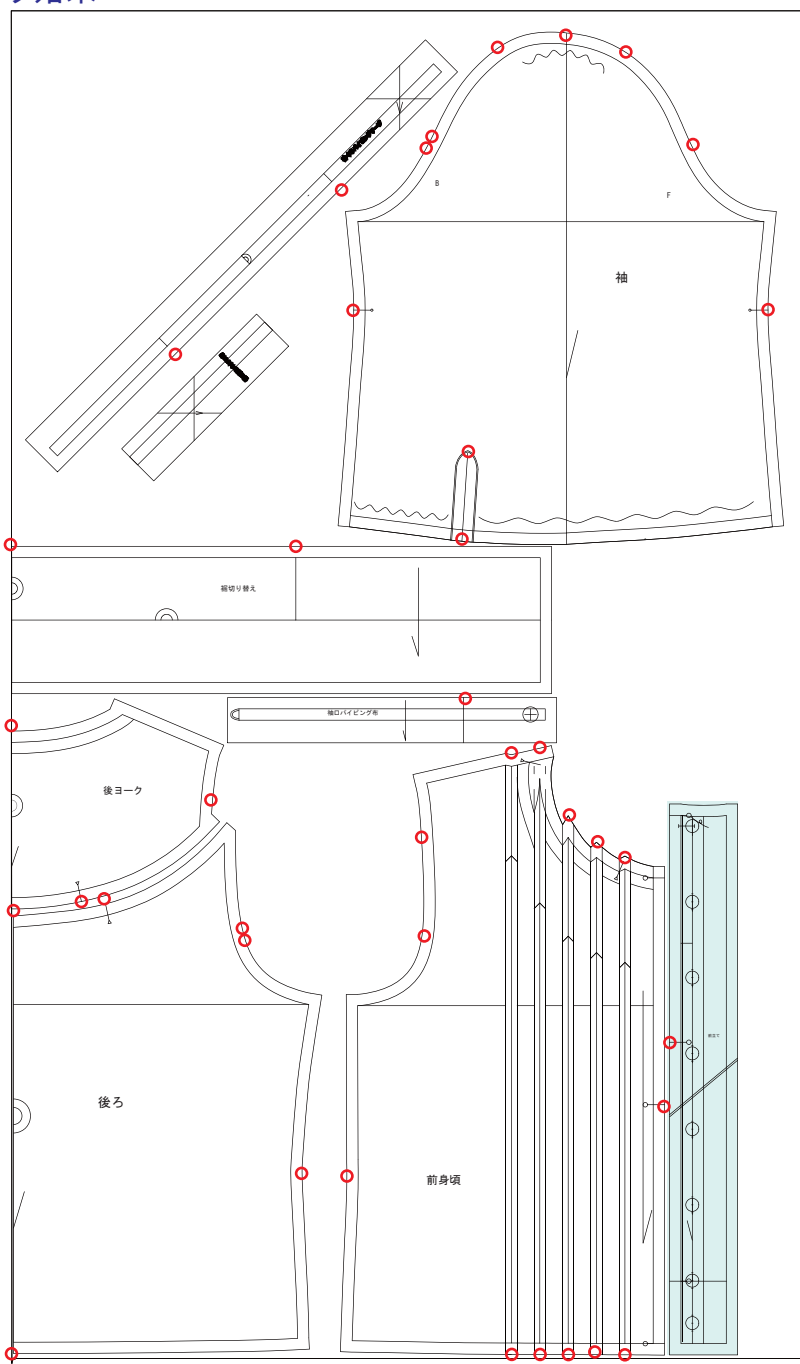
【芯地】

・全面芯

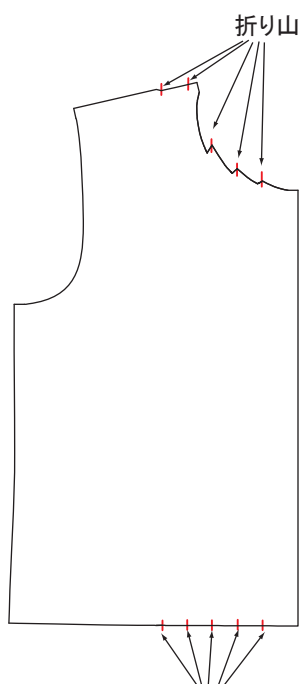
前立てはパターンより

1 cmほど大きく粗裁ちし、

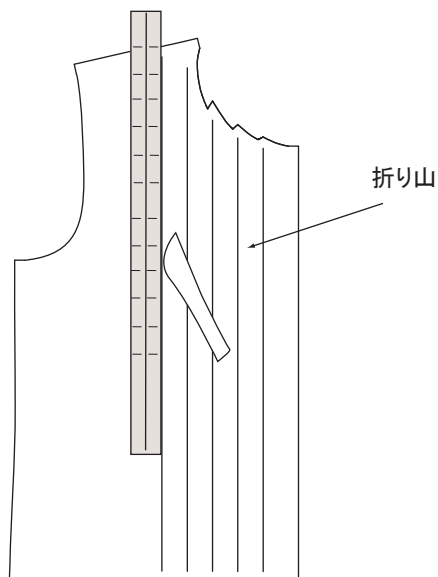
芯を貼ってからパターン通り裁断する。



③前身頃ピンタック縫い

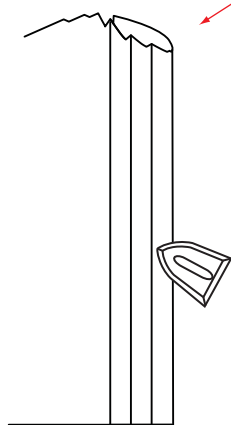


前身頃を粗裁ち（多めに縫い代をつけておく）し、
ピンタック5本分の折り山の印を上下につける。

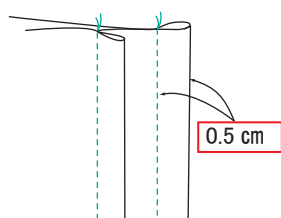


5本のタックの折り山に、ヘラなどで印をつける。

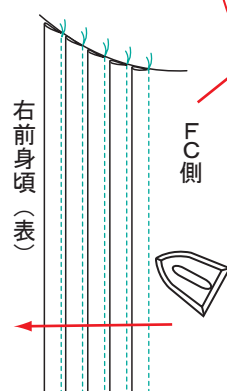
* 山の上下の印に定規を当てて、印をつける。



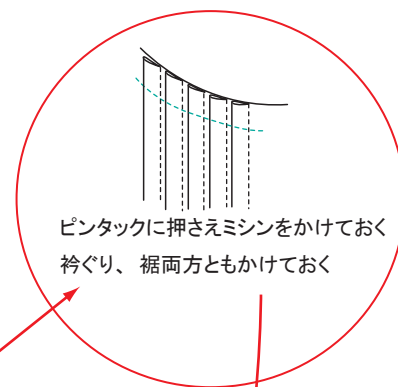
印をつけた折山に
アイロンをかける



折り山から0.5 cmの位置に、
ステッチをかける。
返し縫いはしなくてよい。

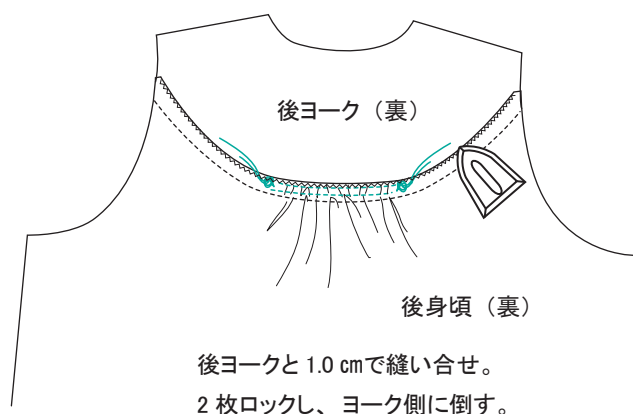
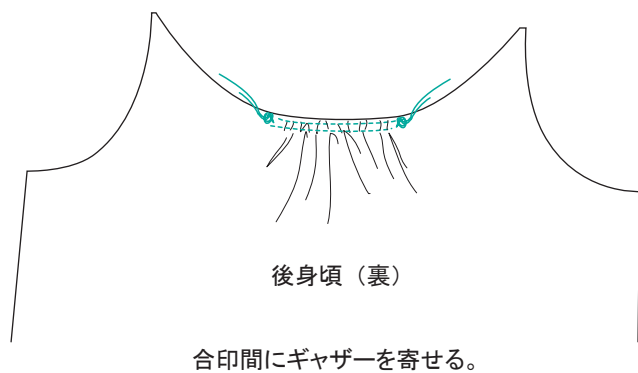


縫い終わったら、タックを外側に倒す。
きせがかからないように、
タック幅が揃うように、
縫い目にアイロンをかけて整える。

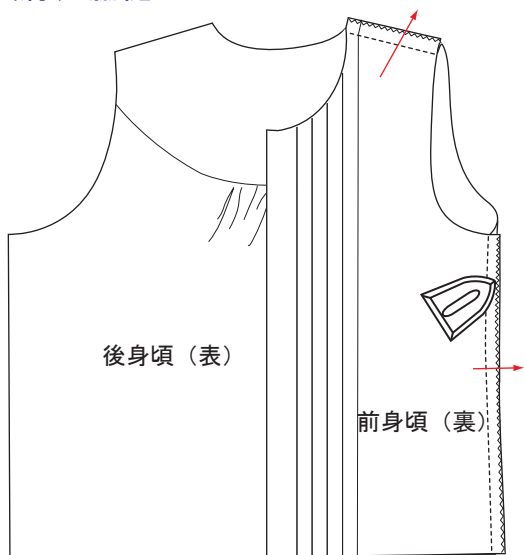


- * ピンタックが安定したら、添付の出来上がり型を当てて寸法を確認し、きちんと裁断する。
- * 衿ぐりのデザインを決めて、パイピング仕上げなら縫い代分（1.0 cm）を切り落とす。
棒タイ仕上げなら、縫い代はそのまま残す。
- * 後ヨークにも縫い代がついているので、ここで確認する。

④後身頃ヨークつけ



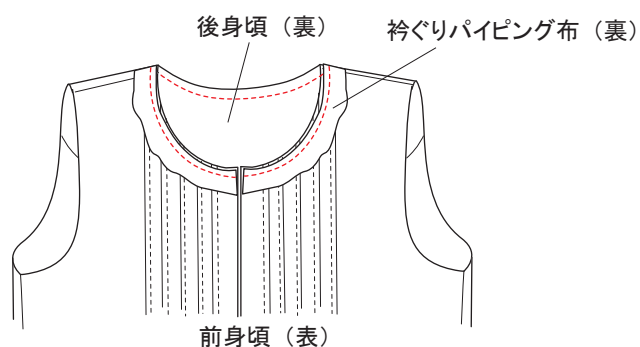
⑤身頃肩、脇縫い



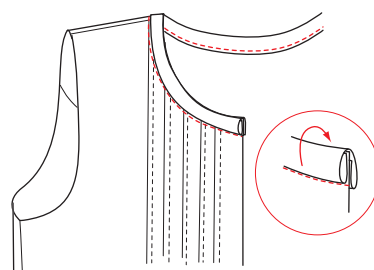
前後身頃の肩と脇を1.0 cmで縫い合わせ。
2枚ロックし、後身頃側に倒す。

⑥衿ぐりパイピング

* 棒タイの場合は p.9 の工程を参照



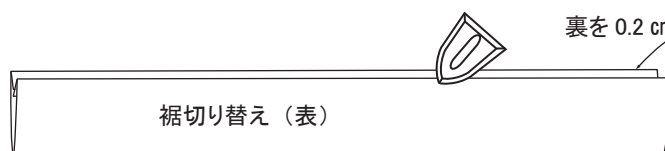
パイピング布を衿ぐりに合わせ、
1.0 cmで縫う。



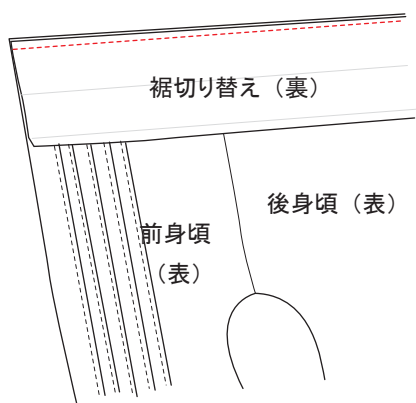
パイピング布で衿ぐりを包み、
裏の縫い代は0.8 cmくらいに控えて折って、
表から落としミシンをかける。

* 衿ぐりフリルの場合は、この後 p.8 の工程を参照。
フリルは、すべての工程が完成した後でも付けられる。

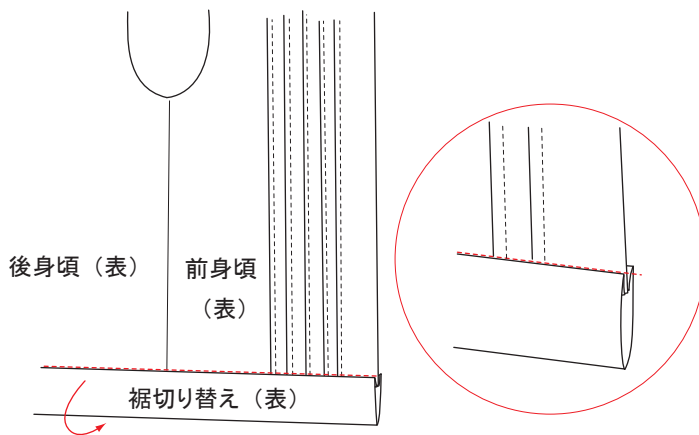
⑦裾切り替え縫い合わせ



裾切り替えを半分に折り、縫い代も出来上がりに折っておく。
裏側の縫い代は、0.8 cm くらいに控えて折っておく。

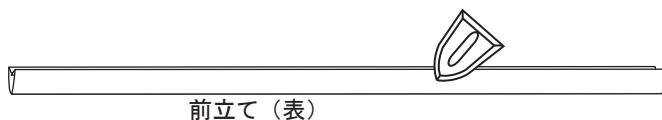


裾切り替えを広げて、身頃と 1.0 cm で縫い合わせる。

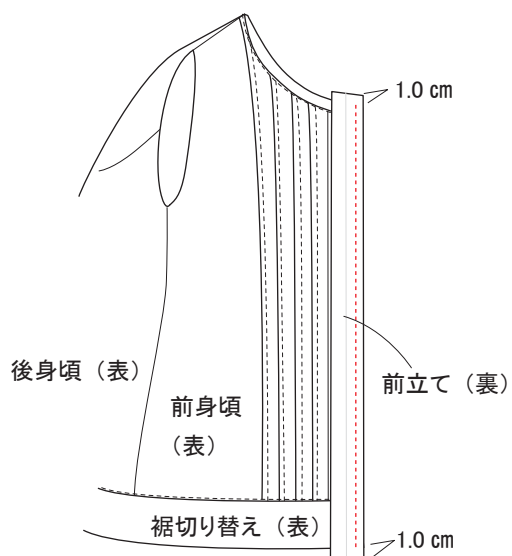


半分に折りって整え、表から落としミシン。

⑧前立て縫い合わせ

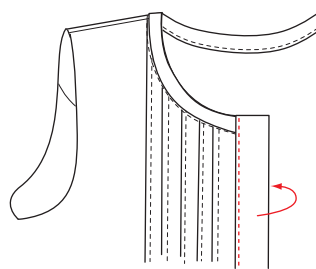
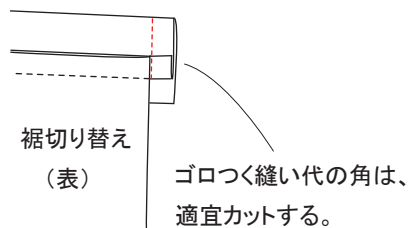


前立てを半分に折り、縫い代も出来上がりに折っておく。



前立ての折り目を広げて、
身頃と 1.0 cm で縫い合わせる。

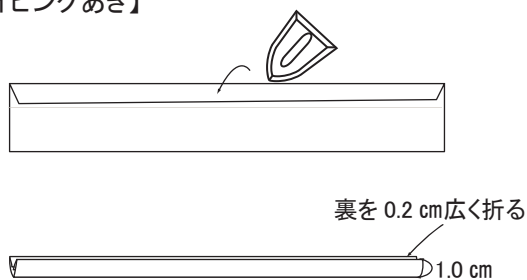
両端の縫い代を中縫いする。



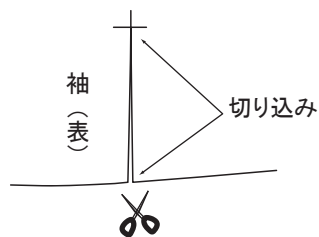
表に返して整え、
コバステッチをかける。

⑨袖つくり、袖つけ

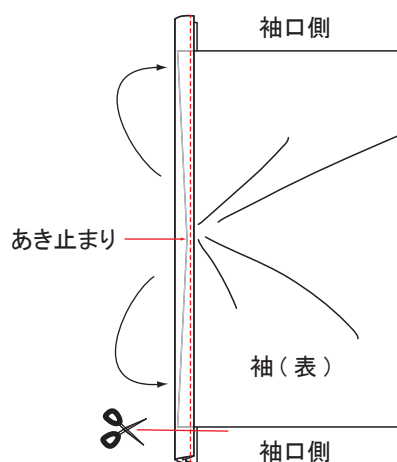
【パイピングあき】



袖口パイピング布を 1.0 cm 幅の 4 つ折りにする。
裏側を 0.2 cm 出しておくでステッチが落ちない。

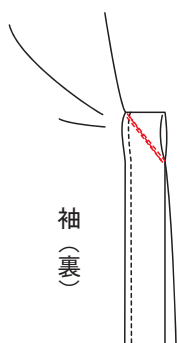


袖口からあき止まりまで切り込みを入れる。

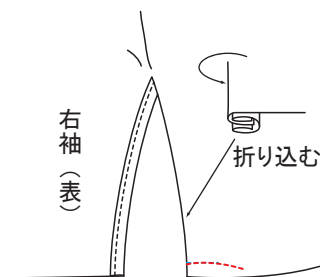


切り込んだあきを
なるべく直線になるよう広げ、
パイピング布ではさんで
コバステッチで縫う。
このとき、
広く折っておいたほうを裏側にする。

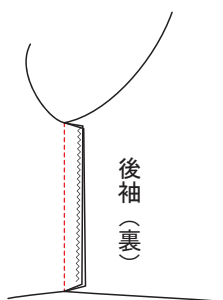
あき止まりはツレないように、
縫いしろ幅を狭くして、
自然につながるように縫う。
両端のはみ出したパイピングは
カットする。



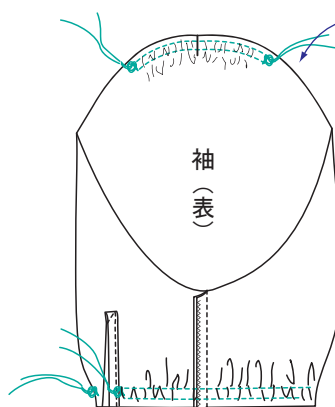
パイピングを
中表に合わせて折り、
あき止まり位置に斜めに
止めミシンをかける。
* 2 ~ 3 回返し縫いをする。



袖山側のパイピングを
内側に折り込み、
縫い代に押さえミシンをかけて
アイロンで整える。



袖下を 1.0 cm で縫う。
2 枚ロックして、後袖側に倒す。



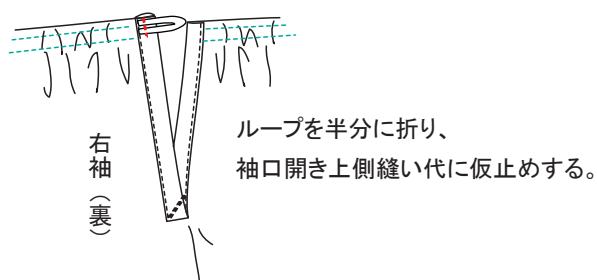
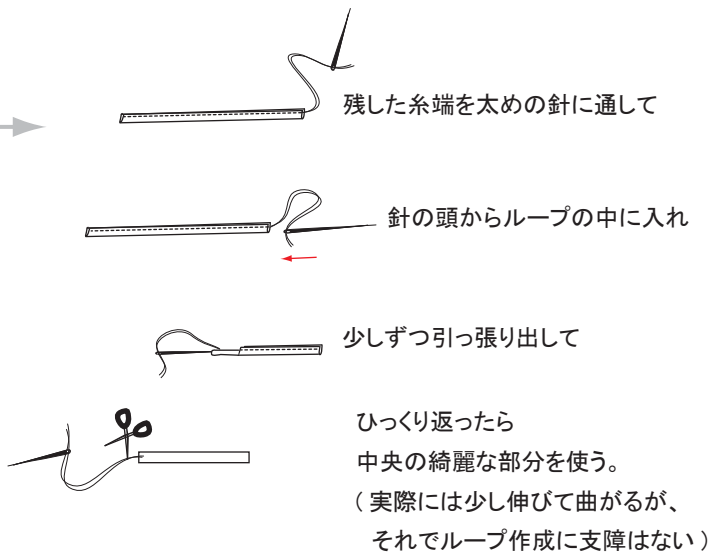
* ギャザーミシンのついでに、
袖山のギャザーミシンもかけてしまう。
(袖山の工程は、【袖付け】で説明)

袖口縫い代に、0.4 cm と 0.9 cm の
ギャザーミシンを 2 本かける。
両端の糸は 10 cm 位残し、
下糸を引いて袖口パイピングの
つけ寸法まで縮める。
両端の糸を結んで寸法を固定する。

【ボタンループづくり】

裁ち落としはぎれを利用して、
ループ用生地をバイアスに裁つ。
中表に半分に折り、
「わ」の部分から細かい針目で 0.3 cm で縫う。
縫ってから、縫い代を 0.2 cm 位に細くカットする。

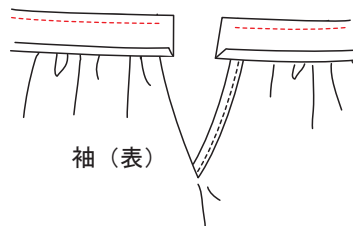
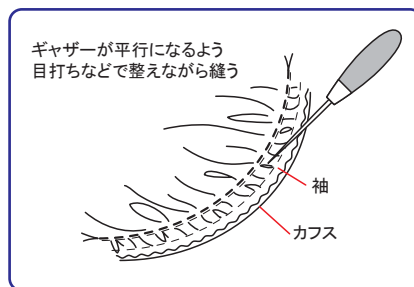
ループ返しや針を使ってひっくり返し、
半分にカットする。



【袖口パイピング付け】

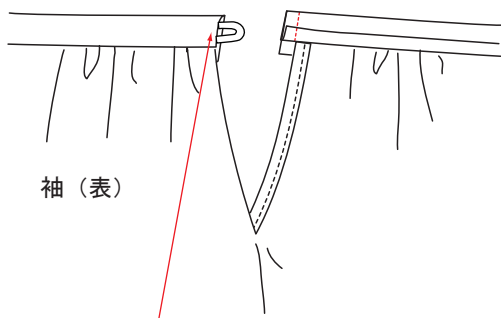


袖口パイピング布の縫い代を表側 1.0 cm、裏側 0.8 cm で折る。
さらに半分に折ってアイロンをかける。



袖口とパイピング表側を中表に合わせ、
ギャザー側を見ながら、縫い代 1 cm で縫う。

パイピング端を縫う。

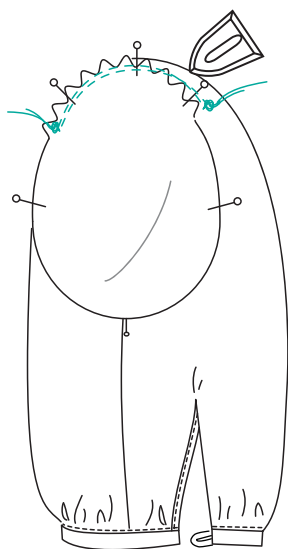


ループ側は端を縫わずに折り込む。

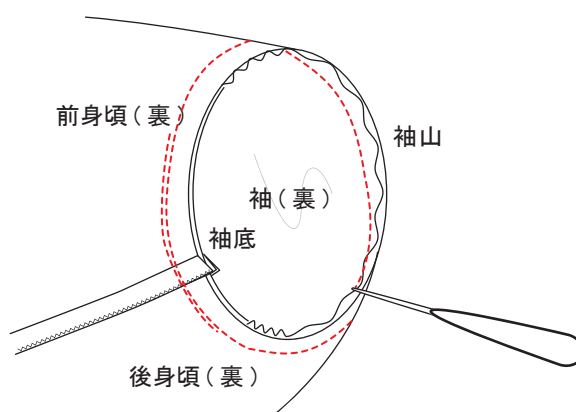


縫い代をパイピングの中に入れて、
ゴロつく縫い代は適宜カットして、
アイロンで仕上がり整える。
パイピングの際に落としミシンをかける。

【袖つけ】



ギャザーを入れた袖山を軽く整え、
合印を合わせてピンを打つ。
袖つけが苦手な方は、
しつけをかけると縫いやすくなる。



袖ぐりから袖をのぞきながら、1.0 cmでぐるりと縫う。
袖山がギャザーにならないように、
目打ちなどでいせを整えながら縫うとよい。
袖下は丈夫に仕上げるため、6 cmくらい二重に縫う。
縫い代はロックをかけて袖側に倒す。

⑩まとめ

【ボタン付け、ボタンホール】

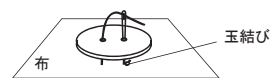
1、型紙を置いてボタン位置を確かめ、印を付ける。

前端 8…14 mm 眠りホールを右前身頃、11.5 mmボタンを左前身頃

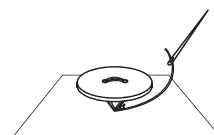
* ホールは第一ボタンは横、他 7 個は縦に開ける。

袖口パイピング左右各 1…11.5 mmボタン

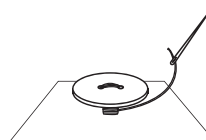
ボタン付け



1、布の厚さ分糸足をつくる



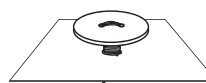
2、1を3～4回繰り返す



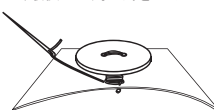
3、糸足に糸を巻きつける



4、最後の一周に針をくぐらせる



5、布の裏へ針を出す



6、布の裏で玉結びをして表に出し糸カットする

【仕上げアイロン】

・仕上げアイロンをして完成。

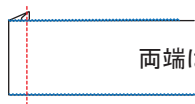


⑪アレンジデザイン

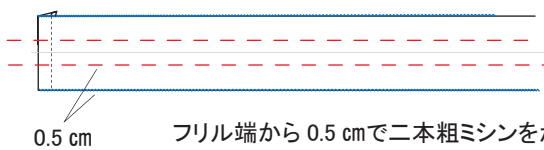
【フリル】

簡単で可愛いアレンジ

フリルパターンをカットし、両端を巻きロック。送りを詰めたジグザグステッチでも OK。
(お使いのミシンの内蔵ステッチにより、適宜アレンジしてください。)

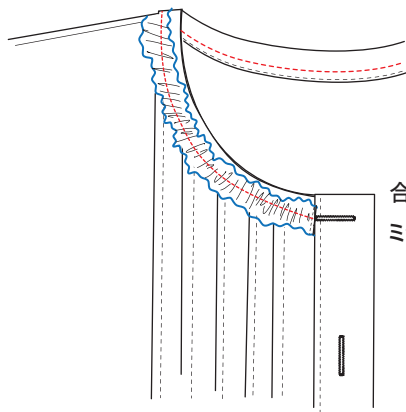
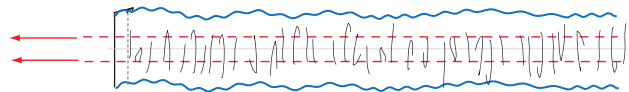


両端は 0.6 cm を三つ折りステッチしておく。

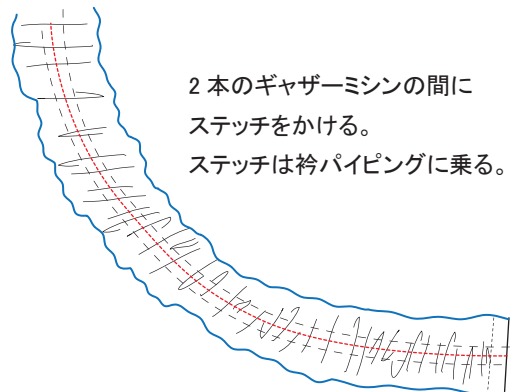


0.5 cm

フリル端から 0.5 cm で二本粗ミシンをかけ、ギャザーを寄せる。



合印を合わせて衿に寄せ、
ミシンステッチで止めつける。



2 本のギャザーミシンの間に
ステッチをかける。
ステッチは衿パイピングに乗る。

ギャザーミシンを外して完成。



【棒タイ】

* 棒タイデザインの場合は、身頃の衿の縫い代 (1.0 cm) を残す。
棒タイを付け止まりまで 1.0 cm で中縫いする。

